



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol.08 No.2482

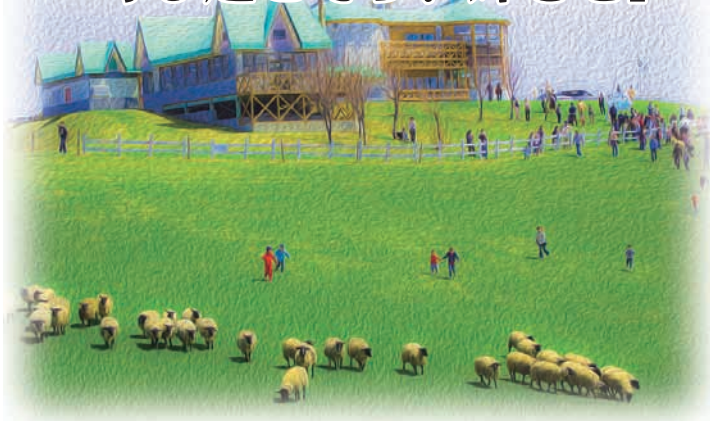
2014～2015年度 国際ロータリーテーマ



2014～2015年度RI会長 ゲイリーC. K. ホアン

2014～2015年度士別ロータリーのスローガン

「呼び起こそう、輝きを」



- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所／士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234
- 会長／宮崎隆雄 ■副会長／北村浩史
- 幹事／坂口芳一

今日のプログラム 第2563回例会 2014年9月8日(月)…〈普通例会〉

■9月1日の記録■ 普通例会

- 司 会 佐藤元信 会場監督
- 斉 唱 我等の生業
- 本日の出席 会員47名中 出席者40名 出席率85.11%
- 本日の欠席 今井 裕、北村浩史、佐藤元保、汐川泰晴、二井内亮太、野 英俊、山本俊一
- メイクアップ
- ビ ジ タ ー
- ゲ ス ト
- ニコニコBOX 佐藤安司・山口哲雄・志村孝幸・神田英一・加藤 博(誕生日記念)
宮崎隆雄(第31回パークゴルフ同好会例会優勝)
本山忠之(ガバナー公式訪問終了御礼)、國森和磨(朝日神社例大祭終了御礼)

累計98,000円

例 会 予 定

■9月の予定……………《新世代のための月間》

- 9月1日(月)／例会・理事会
- 9月8日(月)／例会
- 9月15日(月)／休会(法定休日・敬老の日)
- 9月22日(月)／例会
- 9月29日(月)／夜間例会

■10月の予定……………《職業奉仕月間・米山月間》

- 10月6日(月)／例会・理事会
- 10月13日(月)／休会(法定休日・体育の日)
- 10月20日(月)／例会
- 10月27日(月)／夜間例会

■会務報告宮崎隆雄会長

- 先週のガバナー公式訪問時には、会員皆様のご協力を賜り盛会の内に例会を終えることが出来ました。ありがとうございました。
また、本山ガバナー補佐に於かれましては、続けて分区内の公式訪問が続き本当にお疲れ様でした。
- 8月29・30・31日と士別総合体育館に於いて第9回得の市が開催されました。また31日には士別市産業フェアも隣接地にて開催され、多くの市民で賑わっておいりました。多くのロータリアンも関わっておいりました。お疲れ様でした。
- 今月24日の下川RC50周年記念式典、10月11・12日の地区大会と行事が予定されています。何れも他クラブのロータリアンと触れ合える貴重な、また有意義な行事で御座います。是非、ご都合を調整され多くの皆さんとで参加したいと切望している次第で御座います。ご協力賜ります様、お願い申し上げます。

■幹事報告坂口芳一幹事

- 9月のロータリーレートは1ドル102円となっております。
- 下川RC創立50周年の記念式典祝賀会に参加される会員の皆様をお願い致します。登録料8,000円を次週例会に会計の方へお支払い下さい。
- 各テーブルに回覧してありますが、士別市政経懇話会ひぶな会より士別ふるさと大使壁画家松井エイコ氏の壁画展及び講演会の案内が来ておりますので、御観覧下さい。
- 本日例会終了後、第6回クラブ理事会を開催致しますので、役員・理事の皆様のご出席を宜しくお願い致します。

■委員会報告

- ロータリー情報委員会.....尾崎 学委員長
ロータリー情報委員会と致しましても今回の地区大会、下川の50周年、各種公式行事にも積極的に参加して、会員同士の交流又、ロータリーをよく理解する為にもそういう大会に出席して頂きたいとお願いでございます。特に新入会員始め若い会員の方には地区大会は楽しい場でもございます。今年には本山ガバナー補佐も出皆さんで大会を盛り上げたいと思っておりますので、私たちロータリー情報委員会と致しましても皆さんの積極的な参加を宜しくお願い致します。

■その他報告

- ガバナー公式訪問終了御礼...本山忠之ガバナー補佐
先日、ガバナー公式訪問例会に皆さんご出席頂き

まして有難うございます。無事、第2分区6クラブ公式訪問を終わらせて頂きました。名寄のバナーですがバナー交換をしようということで、帯広RCと各クラブのバナー交換は当然やるのですが、バナーを頂きましたのでこちらに飾っておきます。公式訪問が終わっても、士別RCを代表して分区内のクラブにお邪魔しておりますので、公式訪問の中で枝幸が最後だったのですが、枝幸さんはすでに下川RCに17名、全員登録をして頂いているし、地区大会の登録もされていて、奥様方も5名も出席されるということで、非常に協力的にして頂いております。締め切りは過ぎているかもしれませんが、ご都合が宜しければ参加して頂ければと思います。他のクラブに行った時に、士別さんはいないよねと言われることだけは避けたいと思っておりますので、是非皆様ご協力宜しくお願い致します。

●プログラム委員会.....谷 温恵会員

本日のプログラムは新入会員卓話となっております。早速ではございますが江端健之会員、宜しくお願い致します。

■新入会員卓話江端健之会員

私が興味を持って読んだ本で「自立と依存」についておもしろい考え方をしている、熊谷晋一郎さんという方を御紹介したいと思います。
熊谷さんは、東大卒の小児科医なんですが、幼い頃に脳性マヒにあい、車いすで生活する障害者です。この方が何を言ってるのかというと、一般的に「自立」の反対語は「依存」だと勘違いされていますが、人間は物であったり人であったり、さまざまなものに依存しないと生きていけない。「実は膨大なものに依存しているのに、「私は何にも依存していない」と感じられる状態こそが、“自立”といわれる状態なのだろうと思います。だから、自立を目指すなら、むしろ依存先を増やさないといけない。」自立というと、「何にも頼っていない。自分の力で立っている」というイメージですから、この発言はちょっと意外な感じがします。

しかし、我々の生活というのは実はたくさんのものに依存しているとこの方は主張しています。例えば人間が生きていくためには周囲にある様々なモノ。空気や水、食べ物といった生物学的に必須なものから、人間関係、経済、法律などの社会システムまで、実にたくさんのものに依存しています。熊谷さんの主張は、自立的に生きて行きたいなら、依存を絶つのではなく、依存できる選択肢を積極的に増やせ、

というものです。こうした考え方は、熊谷さんが障がいを持ち、周囲のサポートなしには生活できない、という状況から生まれたようです。幼い頃は、主に母親からのみサポートを受け、成長するに従い、母親の元を離れ、多くのボランティアからサポートを受けて生活している。こうした中から生まれた認識です。またこの方は痛みについても研究していて、なんらかの病気などで慢性的な痛みを持つ患者に対する研究の中に破局化スケールというアンケートがあるそうです。これは「どの位、本人は痛みが全てだと思っているか」という問いです。これによると、「私の人生はこの痛みせいでダメになってしまった」というような思い込みが強い人ほど、治療をしてもその後の経過がよくない傾向があるそうです。つまり、本来、人生はとても複雑なもので、うまくいかない事があるにせよ、それは様々な理由があるはずなのに、自身の痛みという一つの理由に依存してしまうとあまり良い結果がでないようです。逆に、何かうまくいかない事が起こっても、その理由について様々な事を思い浮かべる事ができる人。原因はいろいろあるのだから、少しずつ調整してやっていくしかない、というふうになる人は比較的、予後が良いそうです。ここでも自分の依存先を増やす事が重要、という訳のようです。

■ 9月の誕生祝い



志村孝幸・佐藤安司・神田英一・山口哲雄・加藤 博
5名の会員が今月誕生日を迎えます。
おめでとうございます。

■ ガバナー卓話 (v01.7よりの続き)

2014～2015年度第2500地区ガバナー／奥 周盛氏
四十にして惑わずというのもそうです。三十にしてたち、四十にして惑わず、五十にして天命を知る、六十にして身に従い、七十にしてのりを超えずとここまで続く言葉であります。不惑の年が1番有名な言葉です。論語は学習という言葉をご紹介しましたが、学びて習う、これ喜ばしからずや、友遠方よ

り来る、楽しからずやという文章の一節であります。この最後の友を私はガバナーに変えると面白いと思ったんですが、ガバナー遠方より来る、公式訪問楽しからずやというのはいかがなものでしょうか。このようなR Iテーマ今年度「ロータリーに輝きを」であります。毎年ロータリーテーマが出て参りますが、それぞれに深い味わいがあると思ひまして、私が特に印象に残っているのは、アジアから出られたR I会長のものをここに並べてみました。リチャイナ・タクルさんというタイから出られた方です。「慈愛の種を播きましょう」慈愛というのが仏教国タイの歴史、民族を表している印象がありますし、リー・ドンコンさんは韓国から出られた方です。カミアン・バビルジイさんはインドから出られた方です。田中作治さん、一昨年日本人として3番目に出られたR I会長、「奉仕を通じて平和を」やはり平和というキーワードを入れたところが日本から出られたR I会長の1番訴えたいところだったと思ひました。輝きというのがキーワード、ロータリーに輝きをのテーマに基づきまして、私が今年度、地区方針の中でロータリーを輝かせるというエネルギーはクラブの元気、輝きというのは、それぞれロータリアンの行動です。ロータリアンが輝くのは、それは奉仕の喜びと感動ですと申し上げたわけですが、この奉仕の喜びと感動、実はロータリーモーメントというプログラムをご紹介したいんですが、モーメントというのは習慣、或いは時機、契機、動機、きっかけ、そんな意味合いがあります。ロータリーの動機、皆様それぞれロータリー歴ご経験は長い短いあるでしょうし、地域によって活動が違いますから、いろんな種類の感動喜びがあると思ひます。このようなロータリーに入会して良かったこと、感動したこと、素晴らしい出会い、役に立ったこと諸々、こういったものを3分間のスピーチの中で述べてみて下さいというプログラムがありまして、スローワタリモーメントと称しているのですが、私は1月にサンジェノの国際協議会に行っているいろんな研修を受けた時に、このプログラムを同期のガバナーエレクトとやりました。3分間で語る自分の感動的なものはなんでしたかといったんです。その時に私が紹介したのは私が最も感動して印象に強いのはチームブランドという事業でした。いわゆる世界社会奉仕WCSです。私は2007年～2008年度にクラブ会長をやらせて頂いたんですが、その時にうちのクラブからやった事が無かった国際奉仕事業をやりたいということで取り組みました。いざ取り組んでみますと、

どこの国のどこのRCと何を
やったらいいのか、本当に手
探りの状態です。当時、北見
の地区大会にGSEチームが
タイから来ました。タイの3330
地区で、当2500地区とは友好
地区ということでいろんな事
業をしておりますし交流をしております。今度の10
月にもタイからクワンチャイガバナーが地区大会に
参ります。この様な交流している地区であります、
障害児のための移動教室というこういう事業をや
ります。GSEの団長でこられた方、この方にご紹介
して頂きまして、この事業を選んで実施したわけ
であります。タイ国のロータリークラブなんです、
ナコウスリーという都市、バンコクから飛行機で1
時間15分、タイの中ほどにプーケットという有名な
リゾート地がありますが、あれの反対側の海岸にあ
るナコウスリーという街があります。そのRCと
一緒にマッチングしたわけです。その街には6つ
のRCがありまして、私のRCと50周年を迎えた中
標津RCにも参加して頂いて実施致しました。資金
は33000ドル、日本円にしておよそ330万円、結構大
きな事業でありました。ここにはロータリー財団の
補充金が入っております。このような自動車を寄贈
したんですが、この自動車の中に障害児の為のいろ
んな学習教材を積んでいるんです。皆様識字率向上
という言葉聞いたことがあるんですが、まさしく人
道的支援という事業に識字率向上の為の事業であり
ます。街のブランドの事業というのは調査をして相
手国を探しロータリー財団の補助金の申請を上げて
実施するという事になると、2年かかります。実
際に事業が実施されたのは翌年度でありました。私
の会長年度が終わっておりましたが、現地に事業が
終わったあとに引渡しセレモニーということで、私
ども現地に行きました。厳粛な引渡しセレモニーの
式あとに歓迎の意味で歌ったり踊ったりしてくれ
たのが障害児なんです。皆さん手が不自由な中
でも一生懸命に私を歓迎してくれました。本当に
子供達を目で見ていると純粋だなあとということが
分かります。障害を持ちながらも世の中を恨むこ
とも羨むことも知らない、本当に純粋な目であり
ます。この子供達のために学習教材が生かされ
る、識字率向上によって文字を覚えていくこと
によって、子供たちが世界の多く広がるという
ことを考えますと非常にいい事業をしたと今
でも思っております。皆様ロータリー財団の標
語をご存知でしょうか。世界でよいことを



しようと、これはロータリー財団を創設したアーチ・
クランプという方が残した言葉であります。こうい
う標語も私は歴史の中で学んでいるわけです。
今回は輝きがキーワードなんです、クラブが輝い
ているというのはどういうことだろうというのを思
いつくまま並べてみました。基本的には会員基盤が
しっかりしている、安定しているということであ
らうし、その安定している会員基盤の基に素晴らしい
プロジェクトをやるということでしょう。そしてや
ったプロジェクトが地域社会から評価を頂くとい
うことで、クラブが輝くのであろうと思うわけ
であります。クラブの輝き、基本的には持続性
であります。しっかりした会員基盤があれば多
様な会員構成の基に会員が積極的に参加して
豊かなアイデアをつくりそして素晴らしい
プロジェクトを実施する。そして地域社会に
成果をもたらす、その評価が高ければ公
共イメージが上がる、認知度も上がる、ロー
タリーデー、今回のゲイリー・ホアン会長が
狙っているのはこういう好循環を狙っている
のだらう、このようなことがロータリーデー
という形で実施されれば、公共イメージに
結びつく、そしてロータリーのファンが
増えてきて会員拡大にも繋がるだろうと
こういう好循環を目指しているというふう
に理解すればロータリーデーの趣旨に
叶うことだろうと思います。効果的な
ロータリークラブというのはCLPを解説
する手続き要覧の中に出てくる言葉
であります。ここでもやはり会員基盤
のこと、奉仕プロジェクトのこと、
やはりこれが大きな柱であると思
います。奉仕プロジェクトをより現
實的に支えるのがロータリー財
団であります。世界には120万の
奉仕団体、NPOを含めて奉仕団
体があるといわれております。自
前の資金を調達できる奉仕団体
というのはそう数はありません。
ロータリーはかなり先を走って
いる奉仕団体であるという、ロー
タリー財団があるというのは非
常に大きいと思います。リーダー
を育成する。持続性のためには
常に若いリーダーを育てていく
ことが必要です。私が地区の活
動方針の中で掲げたものの一部
でありますけども「ポリオ」あ
るいは「ロータリー財団」「米
山記念奨学会」いずれも国際
ロータリーが重要視している
項目であります。そして各種
会合への参加、参加すること
によってロータリーというの
はより益々楽しくなるわけ
でありますし、皆様方の地区
大会への参加、国際大会への
参加できましたらブラジル
サンパウロでありますけれ
ども、多くの方に参加して
いただければ嬉しい限り
であります。